

平成29年度 1学年 春期講習会アンケート結果(4科目)

【平成29年度一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業】進路学習指導部

〔事業内容〕

大学受験に対応できる学力の定着を目指し、予備校教師による授業講座を、長期休業中に実施

〔担当講師〕

英語 千頭和純一先生

数学 松田哲士先生

現代文 高木一哉先生

古文 五十嵐康夫先生

	5(とてもよく理解できた)	4(よく理解できた)	3(ふつう)	4(あまり理解できなかった)	5(理解できなかった)
英語	8人(20%)	11人(26%)	16人(38%)	6人(14%)	1人(2%)
・丁寧に勉強していかなければと思った。 ・中2・中3の問題集をやらなければならない。 ・授業をしっかり受け、力をつけていく。 ・副詞や分詞などがあまり理解できなかったので、使い方や注意するところを把握したい。 ・中学英語の復習から始めようと思った。 ・基礎となることが分かっていないと先生の授業にはついていけないと思った。 ・もっと原点からやっていかなければいけないと思う。 ・先生の授業を受けることで、テストの成績が上がったので嬉しかったです。 ・単語の暗記や問題集をといて自分の苦手を克服していくことで英語力を伸ばしたい。 ・品詞を考えながら学習する。 ・参考書を使って分からないところを確認し勉強していかなければならない。 ・単語の覚え方が分かった。 ・接続詞をもっときちんと勉強したい。 ・授業で教わった方法で勉強していきたい。 ・新たな問題でも1つずつやっていけば解けることがわかった。 ・まだ成果はなくてもこれから出てくる。積み重ねが大事だと思った。					
数学	6人(16%)	18人(46%)	9人(23%)	6人(15%)	0人(0%)
・理由を明らかにする姿勢を教えてもらったのは自分のためになった。 ・わからなくなったら図や表を書いてみるようになった。					

- ・習ったことを生かして勉強していこうと思った。
- ・確率は袋の中のボールで考えられることがわかった。
- ・なぜそうなるのかを考えることが大切だとわかった。
- ・くじ引き型とサイコロ型の区別の仕方がわかった。
- ・しっかりノートをとるだけでなく大事だと思ったことはメモをとることが大切だ。
- ・生活上で計算を積極的にやれるようになることが大切だと分かった。
- ・簡単な問題から鉄則を見つけ出すことが大事だと思った。

現代文	10 人(37%)	12 人(44%)	4 人(15%)	1 人(4%)	0 人(0%)
・繰り返し時間をかけて勉強していかなければならない。 ・読解の仕方と語の意味がわかった。 ・本文をよく読み、きちんとした読解ができるようになりたい。 ・繰り返す言葉を見つけるコツがわかったところが勉強になった。 ・逆接などの見方がわかりよかった。 ・いくつもの問題を解き、自分で読解して要約できるようになりたい。 ・現代文を読み解くためには、繰り返す内容を探していく。 ・文脈を捉えることが大切だとわかった。 ・黙読でなくきちんと印をつけながら読まなければならない。					
古文	3 人(10%)	12 人(36%)	13 人(39%)	5 人(15%)	0 人(0%)
・品詞を考えながら文の内容をつかむことが大事だと思った。 ・逐語訳ができるようになりたい。 ・苦手だった助動詞を勉強できて良かった。 ・接続詞をさがすことが大切だと思った。 ・助動詞の活用がわかった。 ・助動詞は長い期間をかけて身につけていくものだということがわかり、勉強し始めなければと思った。 ・何度も繰り返して大切なところを覚えていかなければならない。 ・尊敬語、謙譲語を教えてもらえて良かった。 ・まずは品詞分解、助動詞を理解していきたい。 ・国語も予習をしてから授業を受ければより理解が深まるし、内容も入ってくると思った。					